

第13回イスタンブール日本映画祭 ヨーロッパ会場

【日時】 2017年3月2日（木）～5日（日）

【場所】 テクフェン・タワー・コンフェランス・サロン

【主催】 総領事館、国際交流基金

【後援】 テクフェン・ホールディング

今年で第13回目を迎えるイスタンブール日本映画祭は、「日本の食文化の秘訣」をテーマにした映画を中心に、6作品を上映しました。オープニング作品として「武士の献立」（2013年、朝原雄三監督）を上映しました。多くの市民の皆様は、日本映画を楽しんでいただきました。



イスタンブール日本映画祭のオープニング記念カクテルで、招待客の前に日本映画の魅力を紹介する江原総領事。



映画祭広報用ポスターより
(以下ヨーロッパ会場上映作品)
『武士の献立』(浅原雄三監督、2013年)
『四十九日のレンビ』(タナダユキ監督、2013年)
『天のしずく』(河邑厚德監督、2012年)
『ラーメン侍』(瀬木直貴監督、2011年)
『海難1890』(田中光敏監督、2015年)
『バケモノの子』(細田守監督、2016年)



オープニング作品『武士の献立』の上映前の様子。会場は多くの来場者で賑わい、好評を博しました。